 GIDソリューションズ株式会社



カラーIDの将来性

カラーIDは、あらゆる産業や業態に活用でき
世界中の印刷物のある所で応用可能です。



応用が
想定される市場

●情報のセキュリティが重視される市場

- ・ 有価証券
- ・ 各種認証カード
- ・ 各種プリペイドカード
- ・ 機密文章 etc.

●個人情報を扱う市場

- ・ 免許証
- ・ パスポート
- ・ クレジットカード
- ・ 各種会員カード etc.

●データの簡素化を必要とする市場

- ・ あらゆる事業用印刷物
(各種パンフレット、商品取扱説明書等)
- ・ トレーサビリティの表示 etc.

●アーカイブス関連市場

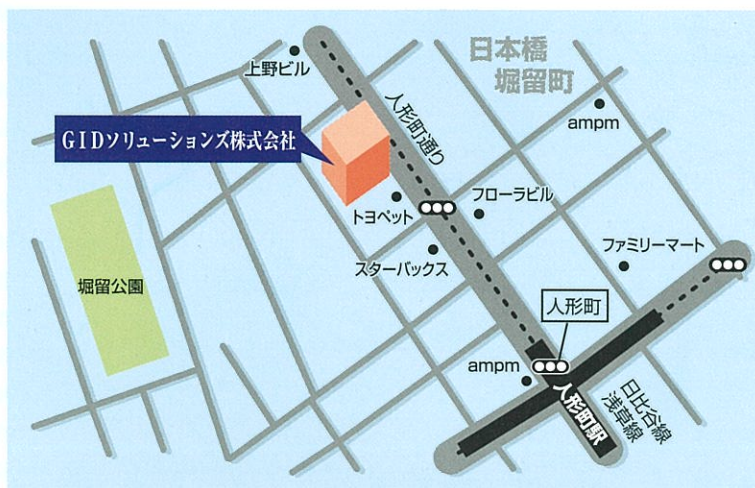
- ・ 各種媒体・書物等出版物
- ・ データの保管 etc.


●エンターテインメント市場

- ・ TV、映画等の映像やサンプル
- ・ 音楽やその他の音やサンプル etc.

●公共分野への利用

- ・ 自治体の情報提供ツール
- ・ 避難場所の街角表示
- ・ 学習教材 etc.



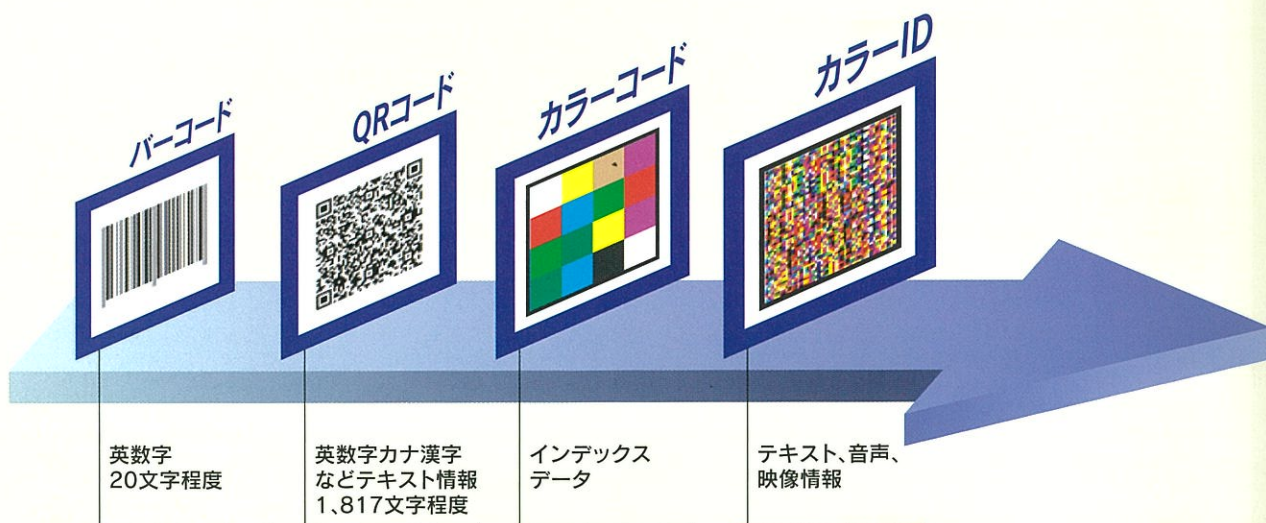
 **GIDソリューションズ株式会社**

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-8-11
TEL. 03-3249-5460 FAX. 03-3249-5461
URL <http://www.gid-s.jp>



カラーIDとは？

「カラーID」は、文字、画像、音声、動画などのあらゆるデジタル化された情報をコード化し、“印刷”というアナログな手法により提供可能となった二次元コードの決定版です。



全ての印刷物が情報媒体に!!

紙はもちろん、印刷を必要としているすべてのものが、大容量の情報媒体となります。

PDAや携帯電話などの携帯端末のスキャナー機能が向上してくれば、さまざまなシーンでの活用が可能となり、ユビキタスネットワーク社会が促進されるでしょう。



商品パッケージ



新聞・雑誌



看板



パンフレット・ポスター

電柱広告



自動販売機



その他印刷物



カラーIDの データ圧縮技術

今までに不可能だった情報量をカラーを使い、
スピーディーに圧縮し、データ化することが可能になりました。

カラーIDの特長は白・黒のドットに色を割り当てることにより、大量の圧縮された情報をデータ化して組み込むことができるという画期的な二次元情報コードです。

既存の各種コードデータは、インターネットに接続し、データを取得する必要がありました。QRコード・カラーコードもこの方式にあてはまります。

「カラーID」は写真、音楽、映像データもコンパクトに圧縮でき、そのデータを手軽にスキャナや携帯電話で読み取り、写真や音楽を楽しむ事ができます。これは「カラーID」が初めて可能にした技術です。通常、音楽

や映像等のデータを楽しむ場合はインターネットに接続し、ダウンロードしますが、莫大なデータ量となり時間と通信費がかかります。「カラーID」はそれらすべてのデータを「印刷」していますので、その画像を読み取るだけで、手間が掛からず簡単にスピーディーにそれらを楽しむことが可能です。また、ビデオやCD、DVDに録画したデータやパソコンに保存されているデータも「画像」として保存することが可能です。



媒体製作物 発注者(クライアント)

●カラーIDの企画、提案



●製作依頼

GIDソリューションズ代理店

製作依頼



データ
保管・管理

グループ会社

GID
ソリューションズ(株)

(株)JGS

GMGカラー
テクノロジーズ(株)

双葉工芸印刷(株)

カラーマネジメントセンターの機能

- カラーマネジメント
(広告代理店やプロダクションに対するカラーブローフサービス並びにサーティアドセンタサービス)
- 保守、メンテナンス
- 商品開発(プリンティングシステム)
- コンサルティング機能
- 印刷ネットワーク本部機能

カラー
マネジメント
センター

- カラーIDのコード体系の標準化
- カラーID認識ソフトのダウンロード提供
- カラーID読取り機(携帯等)のテスト・検証
- カラーID対応印刷工場の認定
- カラーIDを活用した商品開発
- 機器開発のための情報提供

「カラーマネジメントセンター」は、色(Color)のデジタル情報がアナログなツール類に正しく反映され、それが情報端末によって正しく解析されるよう「色のコントロール」を行う機関です。また、「カラーID」を効率良く普及させるための戦略的な組織体です。

協力

関連業界団体
関連研究所等

※カラーIDの公共利用や、利用端末の研究など、社会への啓蒙、提唱

各印刷会社



カラーIDを使った セキュリティ

カラーIDは“色を使った暗号化技術”

『カラーID』は簡単にいうと、現在使われている二次元コードを上回る量の情報を、色(Color)を利用して暗号化する技術です。

まず、文字や画像などをデジタル情報に変換します。そして、その情報を白と黒の点からなる正方形のドットの模様にし、ひとつひとつのドットに色を割り当て、色つきのドット模様になります。

それが暗号化された二次元情報コード『カラーID』です。

暗号化された情報コードを解析する場合は、スキャナー等で読み取り、専用の解析ソフトを使って色、色の位置、範囲などを解析し元の情報を入手する仕組みです。



1 情報漏えい対策に効果

人間の肉眼では認識できない程の色の差異で、印刷物に配置することが可能。従来のバーコード、磁気テープ、ICチップ等のように情報コードが露出しないためセキュリティもアップし、情報秘匿性が要求される分野でも活用できます。



2 複製を防止

印刷物自体に情報が秘匿されていますので、現在の技術ではスキャナーの機種、画像処理ソフト、印刷機、印刷物の材質など印刷環境すべてが同一条件にならない限り、再現・複製はほぼ不可能です。

3 情報コードの解析が困難

情報コードの解析には情報コードの位置、縦横の範囲、色などがカギとなり印刷されたドットの数が多いほど組み合わせパターンが複雑化しますので、従来の暗号化技術より速かに解析が困難です。



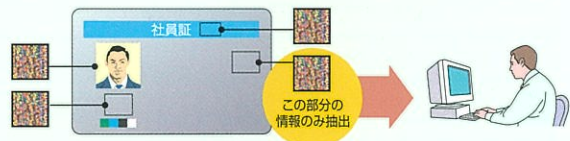
4 個人情報保護も万全

印刷された顔写真の上に情報コードを配置したり、複数の情報コードの組み合わせによって解析する仕組みによって、個人情報の漏えい防止を強化することができます。



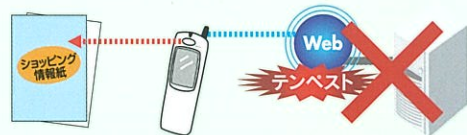
5 情報の複合化利用にも対応

カラーIDのパターンを変えることにより、印刷物から抽出する情報を変更することができるので、印刷物に複数の情報コードを配置しておき、複数の目的で利用する印刷物をつくることが可能です。



6 ネットワークを介した情報提供が不必要

現在、多用されている二次元コードは情報容量が小さいため、ほとんどの場合、情報提供の入口機能（WEBサイトのアドレス表示など）として利用されています。本情報コードは、情報容量が大きいためネットワークを介して情報を提供する必要がなく、印刷物と情報端末間で完結しますので、ネットワーク接続の際の、テンペスト（電磁波盗聴）を最小限に抑えることができます。



7 低コスト

情報コード化したカラーIDの印刷物への配置は、印刷過程のなかで処理されますので安価のうえ、新たな技術習得や設備投資は必要ありません。

